



# 三滝だより

NO. 241

2019年5月15日発行

## かぜかお 風薫る・・・ごがっ 五月の風はどんな香り? かお

風薫る五月、若葉の緑が美しい季節ですね。三滝の山は、ミヤマ  
ガズミ、クロバイ、アオダモ、コガクウツギ、エゴノキなど日替わ



ニセアカシア（ハリエンジュ）

になってあたりを見渡すと、すぐそばに白い小さな花を房のようにつ  
けた高い木がありました。ニセアカシア※です。

※北アメリカ原産のマメ科の樹木。ハリエンジュとも言われ、枝にとげ（針）がある。あ  
まり肥料がなくても早く成長することから街路樹や庭木として多く植えられている。初夏  
の頃、白いチョウの形をした香りのいい花をたくさんつける。ハチミツの原料にもなる。

りのようにいろいろな花が咲  
き、山道を歩くのがとても楽し  
みです。先日、テント場の  
管理棟近くの山道を歩いてい  
ると、さわやかな風といっしょ  
に甘い香りがしてきました。気

よく見るとこの花には、たくさんのハチが集まっています。どうや  
らハチは、この甘い香りに誘われて集まってきているようです。では、  
この花はなぜ甘い香りを出すのでしょうか。

植物は、子孫を残すために花粉を使って受粉（雄しべの花粉が雌し  
べにつくこと）を行います。花粉を虫に運んでもらって受粉を行う  
植物の花を虫媒花といいます。動くことのできない植物にとっては、  
虫を呼び寄せることは、とても大変なことなのです。そこで、花の色  
や香りを使って必死に虫をおびき寄せているのです。植物のけなげに  
もしたたかな仕業にとっても感心させられますね。

## 卵の花のにおう垣根に・・・♪

みなさんは、この歌を知っていますか？こ  
れは「夏は来ぬ」という歌です。この歌詞に  
ある、卵の花とはウツギのことです。友愛  
広場前にあるウツギもつぼみが膨んできて  
います。自然の家にも、まもなく卵の花が咲



ウツギ（卵の花）

きほこり、ホトトギスの鳴き声が山にこだまする季節がやってきます。  
みなさんも、初夏の香りを楽しみに三滝の山を歩いてみませんか？